

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加者の減少が見られる。内容が毎回いつも同じであり、行事報告、行事計画を行う程度の為と考えられる。	運営推進会議のメンバーがグループホームの運営を指導し、様々な意見を発言できる場にする。	運営推進会議をグループホームの行事等と結び付け、参加した際に、様々な意見を頂けるよう組み替える。年間計画を作成し、運営についての意見を頂きやすいように取り組む。	12ヶ月
2		事業所を通じて、地域貢献へ結び付けられている場面が見られない。	事業所として地域に貢献し、密着した介護施設を目指す。	グループホームの行事に地域参加行事を作り、グループホームを知っていただくように努める。また、グループホーム内での各種研修等も一部地域参加も行えるようにし、共に勉強して頂けるようにする。	12ヶ月
3		利用者の意向や気持ちを聞き出す言葉掛け等が不足している。	職員個人個人の能力の差をなくし、利用者の声をいつでも汲み取り、日々の生活の活動へ結び付けるようにする。	利用者とのコミュニケーションをとる時間を確保する。又、記録を取り、家族面会時に話をして記録に残し、ケアプランに取り入れていく。職員研修を随時行い、寄り添いのコミュニケーションを勉強していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。